



第20号
2013年2月1日
尾張旭市立東中学校
この通信は、3年生のみなさんと保護者の方々に向け、編集・発行しています。
<http://www.owariasahi.jp/higashi-j>
編集：深谷男子

卒業に向けて、ついにみんなのたのしみ
みんなのたのしみ

「なでしこ流を解く」
(中日新聞より)

「ひたむき」

「準備」

「仲間を大事に」

「明るさ」

「礼儀正しさ」

「芯が強い」

学年通信NO19に続き、第2弾



仲間を大事に

なでしこはロンドン五輪で銀メダルを獲得した。「サブ組もバックアップ組も試合に出れないのに頑張ってくれ、士気を上げてくれた。相手と折り合いをつけながら、一つの目標に向かう。その鍵になるのが仲間を大事する、ということだ。」と佐々木監督は語る。
ロンドン五輪後、なでしこたちは、バックアップメンバー4人に、

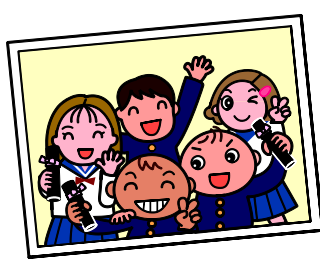
選手村の売店でテーブルクロスを買い、寄せ書きをして渡した。ベンチにも入れないのに、チームのために練習相手になってくれた彼女たちへのサプライズだった。
「人には本能として『生きたい』『知りたい』『仲間になりたい』が備わっている。」(脳医学専門 林家林成之氏) その中でも佐々木監督は『仲間になりたい』が一番重要だと思った。

明るさ

最後の決戦に向かう選手たちはほほ笑んだ。佐々木監督にとつて「笑い」はチームの長所であり、戦略的に必要なものだと言う。佐々木監督が、代表を考慮するとき「明るさ」を考慮している。

「笑いは負を正のエネルギーに転換できる知性である。生きるために人間にだけ与えられた能力でもあり、思いがけない幸福でもある。」
「脳が笑いを欲するのは緊張や不安を解いて脳内のバランスを保つため。」(脳科学者 茂木健一氏)

卒業を前に、皆さんも、「仲間を大事に」と「明るさ」をクラスで・学年で考え行動していきましょう。



2月4・5・6日の3日間は私立一般入試です。
3時間授業で下校になります。(給食カット) 体調を整えることと、自主学習をするための短縮授業です。決して、遊びに出たり、人

混みの中で長時間いないようにしてください。
また、この3日間は、特別時間割です。裏に詳細があります。自分の時間割と持ち物を確認しましょう。

中日新聞に載りました

- ・ 体育祭 力合わせて走り抜く (高橋沙奈)
 - ・ みんなとの 絆深まる フェスティバル (野村葵)
 - ・ 澄んだ空 白い飛行機 よく目立つ (竹本彩乃)
 - ・ 通学路 ほのかに香る 金木屋 (三浦渉)
 - ・ 桜道 どんな気持ちで 歩くかな (小澤剣昇)
- NHK全国俳句入選**
- ・ 福うさぎ 泣き顔見守る あたたかさ (阿部春奈)
 - ・ 風薫る 朝市の橋に 笑い声 (山田絵美)
 - ・ 後ろから 迫り来るのは 雪の壁 (川島理央)

